

10月の実証運行との変更点

1. ルート

- (1) 各ルートの効率化と運行時間の短縮を行った。
(西→8分短縮。東→1分短縮。屈足8分短縮)
- (2) 東地区線と西地区線を新得市街地線として統合し、分かりやすい路線とした。
- (3) 屈足地区から直接、駅に向かわず、新得市街地の医療機関や公共施設を経由して、駅に向かうルートとした。
- (4) サホロ地区の観光客が新得市街地へ出られるように、夜にサホロ線を新設した。

2. 時刻表

- (1) 早朝、屈足からの通学・通院便を新設した。
- (2) 午前中、西地区から東地区へ買い物に行き、東地区から西地区へ帰れるような便を設定した。
- (3) 屈足地区、東地区からサホロクリニックに行きたいというニーズに応えるため、屈足地区、東地区を回った後、西地区を回るようにした。
- (4) 7時台の利用数が少なかったため、朝の便を少し遅くし、8:00発とした。
- (5) 17時以降の利用者数が少なかったため、17時以降の新得市街地、屈足地区の便を省略した。

3. 変更による効果

- (1) 屈足の早朝のニーズ（通学・通院）に応えることができる。
- (2) 西地区の午前便について、買い物を目的とする利用者の増加が期待できる。
- (3) 屈足地区、東地区から西地区へスムーズな移動が可能となる。
- (4) 西地区、東地区を統合し、新得市街地ルートとすることで、より分かりやすいルートとなる。
- (5) サホロ地区の観光客が新得市街地へ移動し、買い物や外食が可能となる。
- (6) ルートの効率化（時間短縮）により、利便性の向上につながる。